

第二部では皆さんと一緒に民謡と踊りを楽しみましょう。
歌詞の一部を紹介しております。

【ソーラン節】

ヤーレンソーランソーラン ヤレン ソーランソーラン ハイハイ
沖の鷗(かもめ)に 潮どき問えばわたしや立つ鳥 波に聞けチョイ
ヤサエンエンヤーアアンサのドッコイショ ハードッコイシヨドッコイシヨ

【ドンパン節】

ドンドン パンパン ドンパンパン ドンドン パンパン ドンパンパン ドド パパ
ドド パパ ドンパンパ それ打て 前出る あとに引く みんな輪になれ 揃っ
たら ドンパン踊りを始めるぞ それ打て それ打て 大太鼓

【炭坑節】

月が出た出た 月が出た (ヨイヨイ)
三池炭坑の 上に出た
あまり煙突が 高いので
さぞやお月さん けむたかろ (サノ ヨイヨイ)

【東京音頭】

ハア 踊り踊るなら
チョイト 東京音頭ヨイヨイ
花の都の 花の都の真ん中で
サテ ヤートナソレ ヨイヨイヨイ
ヤートナソレ ヨイヨイヨイ



岩木山



調布三田会2023 秋の音楽会

2023.10.1(日) 13:00 開演 (12:30 開場)
調布文化会館 たづくり 12階 大会議場



津軽三味線



千葉 楽斗 (ちば がくと)：北海道網走市出身
慶應義塾大学環境情報学部卒、博士課程 1年

二代目 佐々木 光儀 (ささき みつよし)：茨城県水戸市出身
2023年 高森彩花改め 津軽三味線 佐々木光儀流二代目

<出演者の連絡先>

Eメール：live.shamisen@gmail.com

ウェブサイト：<https://www.gakuto-chiba.com/>

ウェブサイト：<https://www.shamitsuaoi.com/>



プログラム

第一部 津軽三味線の生演奏！（13:05-13:45）

（1）合奏曲『六段』

津軽じょんがら節を習得するために作られた津軽三味線の基礎曲です。唯一、全国の津軽三味線奏者が演奏できる合奏曲として知られています。

（2）青森県民謡『津軽あいや節』

津軽五大民謡の一つです。熊本県の「ハイヤ節」が船乗りたちによって各地に伝わり、新潟県で「佐渡おけさ」、青森県で「津軽あいや節」に変化したとされています。

（3）青森県民謡『津軽よされ節』

津軽五大民謡の一つです。「よされ」の意味にはさまざまな諸説があり、「世去れ」が最も有力とされています。貧しい生活に苦しむ庶民たちの「苦しい世の中よ早く過ぎ去れ」という思いが込められた曲です。

（4）秋田県民謡『秋田荷方節』

ルーツは新潟にあり、新潟節が訛ってにかた節に変化しました。穏やかで華麗な民謡が多い秋田県の中で、民衆は技巧的な曲を求めるようになり、誕生したとされています。

（5）オリジナル曲

千葉楽斗さんによって作曲された津軽三味線のソロ曲です。今回が初公開となります。

（6）オリジナル曲『疾風迅雷』

千葉楽斗さんによって作曲された津軽三味線のデュオ曲です。現代の若者らしさを表現したロックな曲調が特徴です。激しいバチ捌きと素早い指使いにご注目ください。

コーヒーブレイク（13:45-14:15）

コーヒーなどのお飲み物とお菓子で
ご歓談ください



CD も頒布しています

第二部 ワークショップと民謡・踊り体験（14:15- ）

（1）研究発表（約15分）

慶應義塾大学博士課程1年の千葉楽斗さんが取り組む音楽の異文化比較研究を紹介いたします。日本の伝統音楽である民謡・津軽三味線が音楽研究にもたらす意義、そして可能性を語ります。

（2）民謡・踊り体験（みんなで歌って踊りましょう）

① 北海道民謡『ソーラン節』

北海道で最も代表的な民謡で、ニシン漁の唄として有名です。大きなタモ網でニシンを汲み上げる際の掛け声「ヤーレン、ソーランソーラン」から名付けられたとされています。

② 秋田県民謡『ドンパン節』

秋田県で最も代表的な民謡で、盆踊りの唄として有名です。棟上げの祝い歌として唄われた「円満造甚句」を、1935年前後に民謡編曲家の黒沢三一が大衆向けに編曲したものが今日のドンパン節とされています。

③ 福岡県民謡『炭坑節』

福岡県に伝わる民謡で、盆踊りの唄として知られています。しかし、明治時代においては名前の通り炭鉱労働者の唄でした。「月が出た出た月が出た、ヨイヨイ」の一節がとて有名です。

④ 東京都民謡『東京音頭』

元々は「丸の内音頭」という曲名で、日比谷公園での盆踊り大会で披露されました。後に歌詞とタイトルが改められ、小唄勝太郎と三島一声の歌唱でレコード化されて爆発的に流行しました。2020年東京オリンピックでも披露されています。

（3）クイズコーナー

日本の伝統音楽にまつわるクイズを出題します。ぜひ親戚やご友人にここで学んだ知識をご共有ください。日本の歴史的・文化的価値をともに継承していきましょう。

（4）曲弾き『津軽じょんがら節』

津軽三味線といえばこの曲です。もともと津軽三味線は伴奏として用いられていましたが、民謡の前奏が進化して独奏楽器としても確立しました。津軽五大民謡において独奏を行うことを曲弾きと言います。全国大会優勝者二人の超絶技巧をご覧ください。

（終演予定：15:30）